

グローバル COE プログラム「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」 平成 24 年度 国際インターンシップ受入 募集要項

国際インターンシップ（受入れ）は、海外からの博士課程後期学生受け入れにより、流動ダイナミクス研究を支援し国際拠点形成に資することを目的とする。また、博士課程後期学生を短期間海外研究拠点より受け入れて東北大学で共同研究を推進することにより、受け入れ学生と本学学生、双方の学生が国際性豊かな研究者に育つ場と機会を提供するためのプログラムであり、国内外の大学院学生の国際性への啓蒙および契機とすることを目的とする。また、本プログラムによって本学と海外との研究者間における共同研究を促し、研究者のネットワークを形成すること、すなわち、流動ダイナミクス教育研究世界拠点の形成を推進するものである。

1. 受入れの資格

原則としてマルチステージネットワーク関連機関（東北大学相互リエゾンオフィスが設置されている大学<Table 2 を参照>および、流体科学研究所が国際学術協定を結んだ部局ならびに大学間協定を結んでおり流体科学研究所が世話部局となっている大学<Table 3 を参照>、または流体科学研究所と国際共同研究を行っている機関）の受入れ時に博士課程後期の学生。

2. 受入れの条件

- ◆ 本拠点の事業推進担当者<Table1 を参照>、および、機械系、ならびに流体科学研究所に在籍する教員が当該研究室への受け入れを承認した受入れ時に博士課程後期の学生。
- ◆ 受入れに必要な実践的コミュニケーション能力をもち、本学への受け入れによって国際性豊かな研究者として本事業発展への貢献が期待できるもの。

3. 受入予定者数

8 名程度

4. 受入期間

平成 24 年 4 月 1 日より平成 25 年 1 月末日までの間、原則として 1 ヶ月以上 6 ヶ月未満の滞在とする。日本入国のためのビザの有無については、各自確認の上必要に応じて申請を行うこと。

5. 支給経費

旅費支給規定の範囲内で、次の経費を旅費として支給する。

支給総額の上限を 100 万円以内(予算の範囲内)とする。

- 1) 往復の航空賃 (エコノミー格安料金)
- 2) 宿泊費の実費 (本 GCOE 事務局が斡旋する寮などの格安宿舎)
- 3) 滞在費 (一日あたり): 原則として 2,000 円以内

6. 受入学生の義務

- 1) 滞在期間中に海外旅行保険(個人賠償責任補償が付加されているもの)に加入すること(本人負担)。なお、本プログラムは、受入期間中に生じた傷害、疾病等の事故についてはその責を負わない。
- 2) 所定の様式により報告書を提出すること。なお、報告書は後日刊行物として公表することがある。
- 3) 本 GCOE 研究交流会(全体会議など)への出席・研究報告
- 4) 本 COE 研究交流会(全体会議など)にて滞在中の成果について報告すること。
- 5) インターンシップの成果を国際会議に発表する、または、博士論文の一部として活用することを求められる。

7. 審査方法及び方針

選考方法としては、申請書、現指導教員推薦書、本学の受入れ教員の承諾書、履歴書等を審査し、決定する。なお、審査結果は審査終了後、速やかに E-mail にて本人に通知する。

- 1) 研究テーマ等が流動ダイナミクス教育研究世界拠点形成に資するもの。
- 2) 受入先での学生の研究の進展が期待できるもの。
- 3) 国際共同研究プログラムの一環であるか。現指導教員と本学の受入指導教員との共同研究の一環として当該学生が関わる予定の学生が望ましい。とくに、本 GCOE マルチステージネットワーク参加大学との国際共同研究を推奨する。

8. 応募について

応募者はウェブサイトから申請書をダウンロードし、履歴書(様式自由)、現指導教員の推薦書(様式自由)、本学の受入教員の承諾書(様式自由)を添付して下記応募先に提出すること。

ウェブサイト：<http://www.ifs.tohoku.ac.jp/gcoe/jpn/application/index.html>

応募書類提出先：

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 東北大学流体科学研究所気付
東北大学グローバルCOE「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」事務局
(封筒に「GCOE 応募書類在中」と朱書のこと)

応募締切：

原則として、渡航予定(出発日)の2ヶ月前まで随時受け付ける。

但し、受入れ予定者数等に達した場合は、本募集を締め切る。

問い合わせ先：

〒980-8577 仙台市青葉区片平二丁目1-1 (東北大学流体科学研究所気付)
東北大学グローバルCOE「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」事務局
電話/FAX: 022-217-5301 E-mail: office@gcoe.ifs.tohoku.ac.jp

Table 1:

グローバルCOE「流動ダイナミクス知の融合教育研究世界拠点」事業推進担当者

氏名	所属部局・職名
圓山 重直	流体科学研究所・教授
高木 敏行	流体科学研究所・教授
中野 政身	流体科学研究所・教授
山本 悟	情報科学研究科・教授
石本 淳	流体科学研究所・教授
太田 信	流体科学研究所・准教授
丸田 薫	流体科学研究所・教授
升谷 五郎	工学研究科航空宇宙工学専攻・教授
西山 秀哉	流体科学研究所・教授
小林 秀昭	流体科学研究所・教授

青木 秀之	工学研究科化学工学専攻・教授
小原 拓	流体科学研究所・教授
徳山 道夫	原子分子材料科学高等研究機構・教授
寒川 誠二	流体科学研究所・教授
小玉 哲也	医工学研究科医工学専攻・教授
雨澤 浩史	多元物質科学研究所・准教授
徳増 崇	流体科学研究所・准教授
大林 茂	流体科学研究所・教授
福西 祐	工学研究科機械システムデザイン工学専攻・教授
浅井 圭介	工学研究科航空宇宙工学専攻・教授
澤田 恵介	工学研究科航空宇宙工学専攻・教授
伊藤 高敏	流体科学研究所・教授
橋爪 秀利	工学研究科量子エネルギー工学専攻・教授

Table 2 海外相互リエゾンオフィス

ニューサウスウェールズ大学	The University of New South Wales
シドニー大学	The University of Sydney
モスクワ国立大学	Moscow State University
スウェーデン王立工科大学	KTH Royal Institute of Technology
シラキュース大学	Syracuse University
韓国科学技術院	Korea Advanced Institute of Science and Technology
国立応用科学院リヨン校	Institut National des Sciences Appliquées de Lyon (INSA-Lyon)

Table 3 国際学術交流協定校

ローマ大学ラ・サピエンサ	Università degli Studi di Roma "La Sapienza"
アーヘン工科大学	RWTH Aachen University
中国科学技術大学	University of Science and Technology of China
ピエール・マリー・キュリー大学	Université Pierre Marie Curie (Paris VI)
南京大学	Nanjing University
浦項工科大学	Pohang University of Science and Technology
国立台湾大学	National Taiwan University
ノッティングダム大学	The University of Nottingham
ヘルシンキ工科大学	Helsinki University of Technology
オークランド大学	The University of Auckland

タンペレ工科大学	Tampere University of Technology
国立中央理工科学学校（リヨン、パリ、リール、ナント、マルセイユ）	Ecoles Centrale Group (Lyon, Paris, Lille, Nantes, Marseille)
ノボシビルスク国立大学	Novosibirsk State University
釜山大学校	Pusan National University
西安交通大学	Xi'an Jiaotong University
北京航空航天大学	Beihang University
ロシア科学アカデミーシベリア支部（理論応用力学研究所）	Siberian Branch of Russia Academy of Science
清華大学（水利水電工程系）	Tsinghua University
シンガポール国立大学（工学部）	National University of Singapore, Faculty of Engineering
吉林大学（汽車工程学院）	Jilin University
南京航空航天大学（機電学院）	Nanjing University of Aeronautics and Astronautics
上海交通大学	Shanghai Jiao Tong University

- 部局間協定

クランフィールド大学航空学部	Cranfield University Aerospace
トロント大学航空宇宙研究所	University of Toronto, Institute for Aerospace Studies (UTIAS)
カールスルーエ大学流体力学研究所	Institute for Fluid Mechanics, University of Karlsruhe(TH)
ハンガリー科学アカデミー物理材料技術研究所	Research Institute for Technical Physics and Materials Science of the Hungarian Academy of Sciences
チェコ科学アカデミープラズマ物理研究所	Institute of Plasma Physics, Academy of Sciences of the Czech Republic
ナンヤン工科大学機械・生産工学部	School of Mechanical and Aerospace Engineering, Nanyang Technological University
ブカレスト工科大学電気工学部	Electrical Engineering Faculty, Politehnica University of Bucharest
中国科学院理論物理研究所	Institute of Theoretical Physics, Chinese Academy of Sciences
モスクワ電力工学研究所（工科大学）電力機械工学力学研究所	Institute of Power Mechanical Engineering and Mechanics Moscow Power Engineering Institute(Technical University)
ブタペスト工科大学経済大学化学・生命工学部（旧名：ブタペスト工科大学化学工学部）	Budapest University of Technology and Economics

中国科学院物理研究所	Institute of Physics, Chinese Academy of Sciences
トリエステ大学工学部	Mechanical Engineering Department, Faculty of Engineering, University of Trieste
アテネ工科大学機械工学部	School of Mechanical Engineering, National Technical University of Athens
台湾国立応用研究所・ナノデバイス研究所	National Applied Research Laboratories(NARL), National Nano Device Laboratories(NDL)
成均館大学校工学部	School of Mechanical Engineering, Sungkyunkwan University
ケンタッキー大学工学部	University of Kentucky, College of Engineering
ライス大学工学部	Rice University, George R. Brown School of Engineering
センメルweis大学薬学部	Semmelweis University, Faculty of Pharmacy
長庚大学工学部	Chang Gung University, College of Engineering